

未来に続く、佐久らしさの追求と創造

チャレンジ!! SAKU



第一次佐久市総合計画
後期基本計画

基本計画



関所破りの桜

後期基本計画

I 部 施策展開の視点と推進テーマ

(1) 施策展開の視点

基本構想の基本理念に基づき、将来都市像の実現を目指して施策の展開（Ⅲ部）の第1章から第6章に掲げる施策を推進するにあたり共通の視点を以下のように掲げます。

視点 a 愛着と誇りをもつことができ、
住み続けたいまちの魅力づくり

本市の持つ地理的・経済的な優位性や優れた都市機能を十分に活用し、市民が愛着と誇りをもつことができるまち、人が住み続けたい魅力のあるまちづくりを進め、佐久の都市ブランドを高めます。

視点 b 安全で活力ある地域づくりと調和のとれた発展

高速交通網や地域の各種資源・環境などを生かし、適切な土地利用の推進と、民間活力の導入により、各地区の調和のとれた発展を促すとともに、災害などに強い安全な都市を目指します。

視点 c 長期的に持続可能な協働型社会の構築

良好な環境を維持し、都市としての機能を向上させるとともに、少子高齢社会に対応したまちづくりを進めます。そのまちづくりの主役を市民が担い市民と行政が協働で知恵と力を出し合う社会を構築します。

視点 d 広域的に求心力のある都市づくり

佐久地域の中心機能を担う都市として、周辺地域と連携し、より広域的な交流関係を強め、多くの人々が訪れ、集う、求心力ある都市を目指します。

(2) 後期基本計画の推進テーマ

これらの施策展開の視点を総合して、まちづくりを進める上での後期基本計画全体を通じた推進テーマを以下のように設定します。

**未来に続く、佐久らしさの追求と創造
～ チャレンジ!! Saku🌸～**

後期5年間の施策展開の共通のキーワードは、「チャレンジ」です。

中部横断自動車道や長野新幹線の延伸による高速交通ネットワークの拡充や、浅間総合病院第二次整備や佐久総合病院再構築に伴う地域医療体制の充実など、本市は今後も着実な発展を遂げようとしています。

本市が今日、このような状況にあるのは、これまで長年にわたって取り組んできたまちづくりの成果ですが、今後の発展が真に市民の利益として十分に享受されるかは今後の施策展開にかかっています。

一方で、本格的な少子高齢社会の到来などに備えて、持続可能な地域社会や世界最高健康都市の構築を進めるとともに、東日本大震災を契機として、安心安全なまちづくりや資源循環型社会の構築に向けた取り組みの強化が強く求められています。

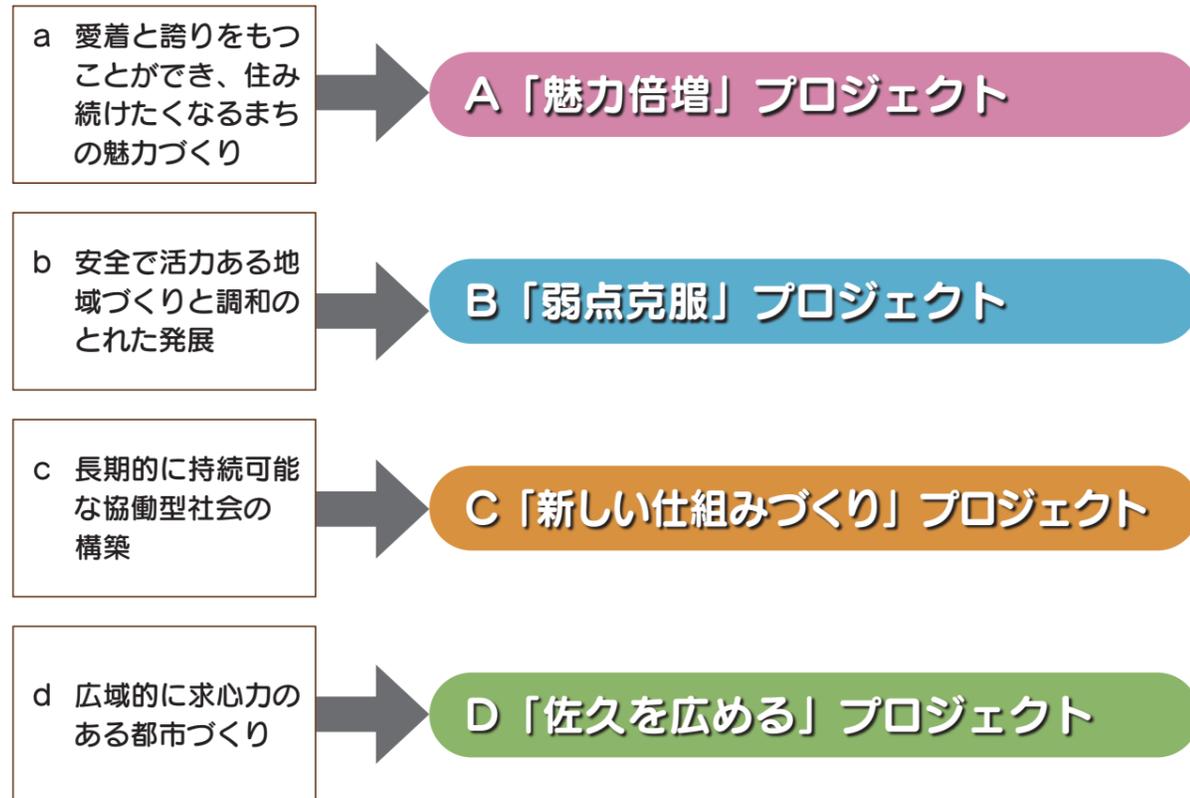
このような状況を踏まえ、今後の施策展開にあたっては、従来の施策を前例踏襲するのではなく、未解決の課題へのアプローチや、より効果的な施策の追求、新たな問題への先駆的な対応などに、叡智と情熱を注ぎ果敢にチャレンジしていきたいと考えます。

そして、佐久市の特性を十分に生かして「佐久らしさ」を追求するとともに、佐久市が佐久市として発展していくための新しい「佐久らしさ」を創造したいと考えています。

市民の勇気と元気を喚起するとともに、本市の飛躍的な発展の礎となるような、後期5年間の「チャレンジ」を展開します。

Ⅱ部 チャレンジ!! プロジェクト

本市の主要課題に対応する推進プロジェクトとして「チャレンジ!! プロジェクト」を掲げます。「チャレンジ!! プロジェクト」は、第Ⅰ部に記載した4つの施策展開の視点に対応するプロジェクトを設け、各プロジェクトの趣旨に沿って優先度の高い施策を位置付け、重点的にチャレンジするものとします。



プロジェクトA

「魅力増」プロジェクト

～自然、食・農、保健医療などを生かした「健康的な」まちづくり～

本市が目指してきた健康長寿のまちづくりの実績や、自然の豊かさ、晴天率の高さなどの地域特性を生かし、愛着と誇りを持って人が住み続けることができ、市民や訪れる人々が体感できる魅力づくりを進め、本市の都市ブランド形成につなげます。

《主なチャレンジ》

- 本市の風土や条件に適した新品目導入 (第3章/農業)
- 介護予防の充実による健康寿命の延伸 (第4章/高齢者福祉・介護保険)
- 生涯を通じた食育の充実 (第4章/健康増進)
- 自然エネルギーによる電力自給率の向上 (第5章/環境保全)
- 全国で一番ごみの排出量が少ない都市 (第5章/環境衛生)

プロジェクトB

「弱点克服」プロジェクト

～地域経済の活性化による雇用創出と
安心安全の確保などによる「力強い」まちづくり～

学べる環境、働ける環境の創出や、産業面や観光面における魅力の向上など、本市が補うべき部分を補強し、バランス良く活力を高めるとともに、地域の防災力などを高め、都市としての基礎体力を強化していきます。

《主なチャレンジ》

- 本市の環境を生かした高等教育機会の拡充 (第1章/高校教育・高等教育)
- 魅力的な地域商店街づくりの促進 (第3章/商業・サービス業)
- 医療・健康などの分野における新産業の創出・集積と企業立地の実現 (第3章/工業)
- 新規学卒者の地元就職の促進 (第3章/就労・雇用)
- 災害時住民支えあいマップの全地区策定 (第4章/福祉のまちづくり)
- 地域の特性に応じた地域防災体制の強化 (第6章/防災)

プロジェクトC

「新しい仕組みづくり」プロジェクト

～少子高齢化への対応や市民協働型社会の実現などによる
「将来を見据えた」まちづくり～

少子高齢社会への新たな取り組みのため、市民や企業が知恵や力を発揮し、行政と協働でまちづくりを進める仕組みをつくり、その効率的で効果的な運営や活動を通じて、将来に向けた都市機能の維持・活性化を進めます。

《主なチャレンジ》

- 文化施設の連携や公共図書館のネットワーク化による新しい魅力づくり
(第1章/文化・芸術、生涯学習)
- 地域公共交通の再構築
(第2章/地域交通ネットワーク)
- 「地域完結型医療」体制の構築 (第4章/医療)
- 「生きるための支援」による自殺対策
(第4章/保健活動)
- 市民活動支援の情報ネットワーク構築
(第6章/協働のまちづくり)

プロジェクトD

「佐久を広める」プロジェクト

～交流人口創出や広域連携などによる「中心市たる」まちづくり～

観光やスポーツなどを通じた交流施策により、市外に向けて本市の魅力を発信するとともに、市民もその魅力を再認識し、交流機会の拡大を進めます。同時に周辺市町村との連携を強め、広域的に一体感あるまちづくりを進めます。

《主なチャレンジ》

- 観光・文化・スポーツ交流拠点づくり
(第1章/地域間交流・国際交流)
- 一流のスポーツに触れ感動する機会の創出
(第1章/スポーツ)
- 松本・佐久間地域高規格道路の建設促進
(第2章/高速交通ネットワーク)
- 市民交流ひろばを活用した大型観光イベントの開催
(第3章/観光)
- 定住自立圏などによる広域連携の推進
(第6章/広域連携)

Ⅲ部 施策の展開

- 1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥
- 2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり
- 3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出
- 4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成
- 5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出
- 6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上

各章における各施策の展開は、以下の項目で記述されています。

前期の主な取り組み

総合計画前期期間(平成19年度～平成23年度)において実施した主な取り組みを記載しています。

現状と課題

今後の施策展開にあたり、踏まえておくべき現状と課題について記載しています。

後期の主な取り組み

総合計画後期期間(平成24年度～平成28年度)において実施する主な取り組みを記載しています。

目標

後期期間内で達成しようとする成果指標として設定した目標を掲げています。

チャレンジ!!

後期期間のみならず、各施策を展開する中で、今後の目指す方向として設定したチャレンジ項目を掲げています。

チャレンジの項目は、4つの「チャレンジ!! プロジェクト」のうち、複数の視点に合致する場合がありますが、主に対応するプロジェクトをカッコ書きで記載しています。